

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力	育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・挑戦し続けるたくましさの育成 郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学びを実感できる授業への挑戦 ②一なりの協働「地域社会への発信」 ③地域の生きと働ける地域社会への発信 ④生き生きと働ける学校づくり	笑顔いっぱい江名子の子【児童も教職員も登校するのが楽しみな学校】	○表現する力 ○思いやる力 ○挑戦する力	学習づくり(まなびあい)	①自分の考えをもち自分の言葉で表す	・児童は、考えの根拠、例示、比較などの手段を用いて自分の意見を述べる。 ・教職員は、条件を与えて書きまとめる学習活動をする。	B	・低学年では自分の立場を2択で選び自己評価する場面や実演しながら説明する実践を行った。 ・条件に合わせて書きまとめる指導は実践を継続する。	
				①話し合って考えを広げる・深める・新たに作る	・児童は、発達段階に応じ、最後まで話を聞く、メモをとりながら聞くなどの活動ができる。 ・教職員は、聞く視点や話し合う必然性を与え、話し合いの道筋を明確にして指導をする。	A	・姿勢を整え、話を最後まで聞くスキル指導を教科だけでなく、ソーシャルスキルトレーニングでも指導してきた。 ・グループ学習後の全体交流は必然があるのかを研究会で検証した。		
				①どうしたらできるか考え、粘り強く取り組む	・教職員は、個別最適学習の視点を持ち、一人学び、仲間との学び、ICTを適宜活用し、「できた、もっとやってみよう」という気持ちをもてるように指導を工夫する。	B	・メタモジによって個人の考えを可視化し、情報を共有すること、GIFUウェブラーニング、みらいドリルを活用して個人のペースで学習を進める取組ができた。		
				仲間づくり(たすけあい)	②自分も相手も笑顔になれるあいさつを続ける	児童は、相手が笑顔になるようなあいさつの仕方を考え、自分からあいさつができる。	B	・学級の仲間や教職員、地域の人に自分から挨拶できると評価する児童が8割である。 ・学校外や来客者に対して自分の判断で挨拶する姿には個人差がある。	
				②仲間のよさを見つける・広める・取り入れる	・児童は、仲間のよさを見つけ、伝える活動をする。 ・教職員は、児童の行動の裏にある心や値打ちを児童に指導をする。	A	・よさ見つけの活動を全校放送で紹介し、皆で認め合う活動を継続する。 ・教職員による行動の価値付けを共有し、教職員が価値付け方を学び合う場を設定する。		
				②係や当番活動でよりより生活をめざす	・児童は、自分の役割を自覚し、係や当番活動をしている。 ・教職員は、よりよい生活にするために考えさせる指導をする。	A	・役割を自覚し、取り組んでいると評価する児童が9割である。 ・児童会活動において、願いをもち、企画や実行、評価していく場を作り、主体的な取組を促す指導をする。		
				健康づくり(みがきあい)	③心をこめて「もみじか」掃除を行う	児童は、新しい校舎をきれいに保とうという意識をもち、掃除に取り組む。	B	・責任をもって取り組んでいると評価する児童が9割であり、教職員も一緒に掃除に取り組んでいる。 ・ボランティア掃除が定着し始め、校舎をきれいに保とうという意識が育った。	
				②自分の命も仲間の命も大切に する	児童は、行動の先にどんな危険があるかを予測し、廊下歩行などを気を付ける。 教職員は、考えさせる命を守る訓練に改善し、取り組む。	B	・「自主的に約束を守り安全な行動ができる」と評価する児童は6割である。 ・「言われたから守れる」という児童の意識を変えることが課題である。 ・「避難中にどんな危険を予想し、行動したか」を評価できる訓練を行った。		
				③めあてを決めて運動に取り組む	児童は、業間運動や体を動かす遊びに継続して取り組む。	A	・業間には外に出ることを原則とし、習慣的にマラソンに取り組むことを実践できた。 ・熱中症の危険により実施期間が限られた。夏期の運動の方法が課題である。		
				郷土	③えーなこの町 ～見て・聞いて・知って・やってみよう～	・教職員は、地域の文化や人材を生かし、学年の発達段階に応じて体験学習を行う。 ・児童は、「江名子には〇〇というよさがある。」と言える。	A	・花、米作り、花餅づくり、短歌づくりなど、地域講師の協力で学習を深めた。 ・福祉体験を通して、相手を思う気持ちや人々が一緒に楽しむことの大切さを学んだ。	
				職員	④危機管理研修の充実と組織的な対応、業務改善の推進	・教職員は、複数の職員が連携し、未然防止から事後まで迅速かつ誠意をもって行う。 ・教職員は、会議の議題、提案文書、各種発信文書の内容を精選する。	A	・生徒指導や教育相談を中心とし、情報共有しながら複数の職員で対応できた。 ・関係諸機関と連絡を取り、事後対応もできた。 ・文書作成のより効率的なシステムを確立していく。	

学校運営協議会における主な評価内容

児童が落ちついてひたむきに学習にしている。将来を見越して自己肯定感を高める活動や心の教育に取り組んでいることを評価された。また、素直だからこそ物事の意義を考え、試行錯誤しながら挑戦することを課題として、来年度の経営構想の改善点を評価された。